

四郷小学校だより

第 13 号
令和元年 9月 6日

2学期が始まって1週間、お子さんの生活リズムは、夏休みモードから2学期モードにうまく切り替わりましたでしょうか。今回の「全国学力・学習状況調査」結果について、四郷っ子（6年生）の「朝ごはん摂取」の肯定回答は、昨年度同様、全国平均を上回っており、ほとんどの6年生ができていました。「同じ時間に就寝できている」肯定回答は、全国とほぼ同じ割合でしたが、「同じ時間に起きている」肯定回答は、全国より低かったです。引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を、どうぞよろしくお願ひします。

夏休み校内作品展開催

9月4・5日に力作ぞろいの作品展が開催され、多数の保護者の皆さんにご鑑賞いただきました。保護者からは「すばらしいですね！」との感想をいただきました。校長自身、今年は昨年度以上に力作が増えたような感想を持ちました。お家の方のご指導・ご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

低学年の作品は見ていて楽しく素敵なものが多く、本当に楽しい夏休みだったのだろうなあ…と思わず笑みがもれできました。「あすなろう鉄道」模型、すぐに飾りたくなる夏の飾り時計、こにゅうどうくん人形、おばあちゃんに教わった絵手紙、写真入りのきれいな額、キラキラ万華鏡、そして定番の昆虫採集もなつかしかったです。英単語の研究に取り組んだ子もいました。

学年が上がるにつれ、さまざまな理科実験や、四郷地区・四日市市・三重県など地元をテーマとして扱った作品が増え、見ごたえ・読みごたえがありました。実際に地域を歩き、地域の人々と話し、さまざまな直接体験（実際に栽培、調理、採集、制作、現地に出向く、プログラムする等）をしているのでとても説得力がありました。毎日の通学路をテーマにした作品について、昨年度は、雨の日の通学路の危険性を訴えた力作でしたが、今年は「自分の命は自分で守るぼくの交通安全学習」など、中身が濃いすばらしい作品でした。タイムリーなものが新元号「令和」にちなんだ元号調査、新1万円札の渋沢栄一さんと郷土の伊藤伝七さんとのつながり調査、そして今年生誕200年の伊藤小左衛門さんの足跡をたどる調査等、四郷郷土資料館の方がご覧になられたら、きっと感動される作品も目立ちました。5年生なのに三重県の古墳調査（模型つき）や織田信長等の歴史人物調査をする子がおり、6年生の歴史学習が待ちきれないでしよう。歴史への強い興味・関心・意欲を感じました。

今年の作品の中から特にピックアップしたいのが、「新聞」を取り扱った作品で、たくさん展示してありました。最近はインターネット等で情報収集する傾向が強いですが、この研究をきっかけに、新聞や辞書に親しむ四郷っ子が増えたように思います。定番のスクラップ収集だけでなく、用語解説や図を入れたり、記事を要約したり、感想を入れたり…。読解力や語彙力がアップしたと思います。

今年の全国学力・学習状況調査結果でも、「新聞をほとんど、またはまったく読まない」四郷っ子は、全国平均より少なかったです。学校の授業でも、新聞を扱った教材（裏面参照）を使用し、笛川中学校区児童・生徒の共通の課題である「読解力」「語彙力」を定着させていきたいです。

展示作品の中から、三泗小・中学校科学展・工作展、社会科展出品作品が選ばれます。該当児童には、担任から連絡がいきますので、四日市文化会館までぜひお出かけください。

教育実習生の来校

来週9月9日（月）～10月9日（水）までの4週間、西岡まゆりさんが教育実習に来ます。主に5年1組に入る予定です。よろしくお願ひします。

